



あななんがいっぱい 手工芸展「みんなのあななん」開催

4/14

阿南光のまちステーションプラザにおいて、「あななん」をテーマにした手工芸展が開催されました。阿南の特産品の竹を使ったもの、フェルトで表現したもの、ガラスになった「あななん」など、など。39人による趣向を凝らした「あななん」。見ていると心がほっこりしますね。皆さんも世界で一つだけの「あななん」を作ってみてはいかがでしょうか。





力作ずらり
市美術展開催

5/3

文化会館で「阿南市美術展」が開催され、市民の皆さんの作品約250点が展示されました。期間中の3日間で500人以上が詰めかけ、来場者は力作を前に感嘆しきりのようすで、久積芳剛さん(長生町)は、「母が書を出展しているの、見に来ました。写真や絵画は、市内で見たことのある風景が多く楽しいですね。私も何か美術を始めるきっかけになれば」と話していました。



竹林にさわやかな歌声が
響きわたる

4/19

新野町で、竹林の景観を生かしたコンサートが開催されました。音楽を通して町内外の住民が交流をもとめ、地元の有志が決起。竹林を整備し、見事なステージや観客席ができました。当日は、250人余りの観客が見守る中、新野中学校の箏曲部など6団体が演奏。幻想的な竹林の中、さわやかな歌声が響きわたり、まるでおとぎの国に迷い込んだかのような様子でした。

5/4
ぎょ、ぎょ、ぎょ
魚のお祭り、大盛況

極彩色の大漁旗が飾られた椿泊漁港で、魚のお祭り、その名も「漁ぎょ魚(ぎょぎょぎょ)まつり」が開催されました。会場内では、活魚のつかみ取りやタッチングプールなどに人だかりができ、漁協女性部によるハモのすまし汁、天然わかめの無料配布も行われました。また、獲れたての鮮魚直売では、市価より安い値とあって飛ぶように売られていました。



4/21
妙案!
バスを災害避難所として使用

海部観光株式会社は、地震や津波などの災害時に高台にある同社のバスや車庫を一時避難施設として津乃峰小学校などが使用することに合意。調印式が、同社バス内で行われ、津乃峰小PTAと津乃峰町自主防災会合同会議、阿南市の4者間で利用協定を締結しました。打山秀明社長は、「企業として地域貢献ができて良かったです」とあいさつされました。



豆力士の奮闘に会場大いに
盛り上がる

5/5

第50回目を迎える「こども相撲大会」が阿南第一中学校相撲場で開催されました。大会では市内外の小学校、中学校から85人が出場し、男女それぞれ団体戦と個人戦が行われました。子どもたちは短パンにまわし姿で無我夢中で取り組み、押したり、投げをうったりと奮闘。土俵際の熱戦が繰り広げられるたびに歓声が沸き、会場は大いに盛り上がりました。



専門家が3つの病気について
症状や治療法を紹介

4/26

ひまわり会館で「あなたの知らない脳神経外科」と題した市民公開講座が開催され、約100人が詰めかけました。徳島大学脳神経外科助教の牟礼英生さんなどが、手足が動かさなくなる「パーキンソン病」、突然の発作で意識を失うことがある「てんかん」、手足のしびれや痛みが起こる「頸椎症」の症状や有効な治療法を紹介。参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

5/5
五月晴れの中、加茂谷の鯉まつり
開催される

開催当日は見事な五月晴れで、無数の鯉のぼりが気持ちよさそうに空を泳いでいました。会場では、カンドリ舟遊覧などさまざまなイベントが設けられたほか、多数の団体が出店。中田泰之実行委員長は、「昨年の台風被害はまだ残っていますが、自衛隊をはじめ皆さんのご協力で開催にこぎつけることができました」と話しました。会場は活気に満ちあふれていました。



4/28
新規採用職員7人に
「あななんサポーター」を任命

初登場以来、幅広い世代に大人気の「あななん」。各地域から数多く寄せられる出演依頼に応えるため、今年度の新規採用職員のうち7人を「あななんサポーター」に任命しました。要請を受け、「あななん」と一緒に市のPRやイベント等にかけます。生涯学習課の曾我井大河さん(23歳)は、「阿南市を盛り上げるため頑張りたいです」と意気込んでいました。

